



情報通信技術教育者 合同会議 2010

<http://ictepc.hongo.wide.ad.jp/>

開催報告書

情報通信技術教育者合同会議2010運営事務局
2010年9月

■主催者挨拶

現代社会においては、インターネットに代表される情報通信技術 (ICT) が広範に普及し、そのインフラ化が進展しています。我々の日常生活においても、多種多様な形態でのICT利用が浸透しており、ICTの存在そのものが私たちの意識の中で透明化しつつあると言えます。すなわち、ICTは、もはや社会にとって必要不可欠なものとなっています。

その一方で、社会に不可欠な情報通信技術の利用に対する体系的・実践的な教育が不足しており、ICTに対する関心が薄れ、知識不足のまま、安全性を深く考えずに利用しつづけている状況が急増しています。21世紀の情報技術を研究開発し、その社会展開を実現に不可欠な人材育成も不十分な状況にあります。さらに、我が国のグローバル化は必須であることは広く認識されているにも関わらず、具体的で効果的な教育方法が確立されていません。

私たちは、このような社会情勢において、今後、安全で信頼できる安定した情報・通信ネットワークと情報基盤 (ICT) を維持し、発展させていくための人材教育のあり方と教育方法を提言し、教育現場における教育者の育成と教育実践を支援することを目的として、ICT教育推進協議会 (ICT Education Promotion Council of Japan) を2010年4月1日に発足いたしました。

今回、当協議会の初めての主催イベントとして「情報通信技術教育者合同会議2010」を東京大学本郷キャンパスにおいて開催いたしました。日本電気株式会社の矢野会長の基調講演や、ICT教育に携わる方々に向け広く情報の共有と産学の連携の場になるようなプログラムが実現いたしました。ご来場いただき、誠にありがとうございました。最後になりましたが、本会合の開催にあたりご協力・ご尽力いただきました、共催のトレーニングセンタージャパンの世話人の皆様、ご後援ならびにご出展企業の皆様、ご講演者の皆様をはじめ、ご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

ICT教育推進協議会会長
江崎 浩



名称	情報通信技術教育者合同会議2010 (英文名: ICT Educators Summit 2010、略称ICTES2010)
会期	2010年8月18日(水) (*8月17日にICT教育推進協議会説明会を別途開催)
主催	ICT教育推進協議会(ICTEPC) 
共催	トレーニングセンタージャパン(TCJ) 
運営	情報通信技術教育者合同会議2010運営事務局 (株式会社イーサイド内)
後援	総務省、経済産業省
会場	東京大学本郷キャンパス工学部2号館
構成内容	基調講演(2)/講演(1)/パネルディスカッション(1)/パネル展示(5)
来場参加費	無料
プログラム登録者数	223名 ※(招待者含む)
来場者数	161名 ※(招待者含む)
公式Webサイト	http://ictepc.hongo.wide.ad.jp/

会場へのアクセス・ 会場内のご案内

■ 会場へのアクセス ■

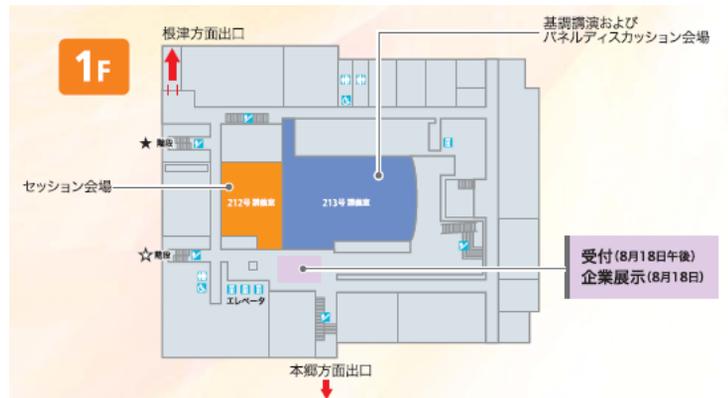


東京大学本郷キャンパス工学部2号館
東京都文京区本郷7-3-1

東京メトロ丸ノ内線・都営地下鉄大江戸線
本郷三丁目駅より徒歩15分、
南北線 東大前駅より徒歩10分、
千代田線 根津駅より徒歩10分



■ 会場外観 ■



■ 会場図 ■

8月17日(火)

電気系会議室1(3階)

11:30~12:15	ICT教育推進協議会説明会 ①「ICT技術者の現状と期待」 講演者：ICT教育推進協議会会長 江崎 浩 氏(東京大学) ②「ICT分野におけるグローバル人材育成」 モデレータ：ICT教育推進協議会会長 江崎 浩 氏(東京大学) 登壇者：長部 謙司 氏 (ICT教育推進協議会運営委員/シスコシステムズ合同会社) 木下 稔雅 氏 (ICT教育推進協議会運営委員/日本電子専門学校) 山口 英 氏 (ICT教育推進協議会運営委員/奈良先端科学技術大学院大学) 吉田 眞 氏 (ICT教育推進協議会運営委員/東京大学)
-------------	---

8月18日(水)

212講義室(1階)

ホワイエ

12:30~	受付	企業展示 12:30 ~ 17:30
13:00~14:00	学生向けプレセッション「ボーダレスネットワーク時代が求める人材とキャリアパス」 講師：長部 謙司 氏 (シスコシステムズ合同会社)	
14:45~15:15	基調講演①「人づくりの現場から」 講演者：木下 稔雅 氏 (日本電子専門学校) 三田 淳司 氏 (長崎総合科学大学) モデレータ：江崎 浩 氏 (ICT教育推進協議会会長/東京大学)	
15:15~15:45	基調講演②「産業界から見た、これからのICT技術者への期待」 矢野 薫 氏 (日本電気株式会社 代表取締役会長)	
16:00~17:30	パネルディスカッション「ICT教育Square」 モデレータ：吉田 眞 氏 (ICT教育推進協議会運営委員/TCJ東日本世話人代表/東京大学) パネリスト：山下 義人 氏 (ゾーホージャパン株式会社 代表取締役社長) 三田 淳司 氏 (長崎総合科学大学) 長部 謙司 氏 (シスコシステムズ合同会社)	

8月18日(水)

学生向けプレセッション「ボーダレスネットワーク時代が求める人材とキャリアパス」

13:00
～
14:00



講師：長部 謙司氏（シスコシステムズ合同会社シスコネットワークング アカデミープログラム マネージャー）

2008年2月Cisco Systems合同会社に入社、Cisco Networking Academyを担当する他、Stanford大学との日本の起業、起業家を研究するプロジェクトも担当する。また、いくつかのグローバル人材育成プログラムにも従事する。

世界中で事業を展開している企業が、今どい様な人材を必要としているのか、シスコシステムズを例に紹介する。またシスコシステムズをはじめとする、ICT企業への就職を希望する学生向けに、学生の内に何を準備すべきなのか、また就職後にどの様にキャリアパスを構築してゆくことが可能なのかを紹介することで、学生による目標設定と就職活動を支援する。

基調講演1「人づくりの現場から」



講演者：木下 稔雅氏（日本電子専門学校産学連携教育企画科長）

1981年3月に明治大学 工学研究科を修了。同年4月に日本電気株式会社へ入社。ビジネス向け交換機システムの基本開発、および、ネットワークSEに従事。
1991年より現職。ネットワークおよびセキュリティ関連学科の設立と運営等を行う。現在、電気工学科の科長を兼務。



講演者：三田 淳司氏（長崎総合科学大学 情報学部 経営情報学科 専任講師）

東京生まれ。学部、大学院では「船舶工学」を学ぶ。工学修士。船や海洋浮体構造物の水槽実験が専門。実験のための計測技術からコンピュータプログラム、電気回路などを学んでいる内にコンピュータネットワークが登場し、そちらが面白くなってしまった。お酒と車が好きだったが、肝臓を壊して禁酒中。今はヤフーオークションで落札した、「14年落ち、7万円のクラウン」を整備して遊んでいる。

14:45
～
15:15



モデレータ：江崎浩氏（ICT教育推進協議会会長/東京大学情報理工学系研究科教授）

1987年 九州大学工学部電子工学科修士課程修了
同 年 株式会社東芝入社 総合研究所にてATMネットワーク制御技術の研究に従事
1990年 米国ニュージャージー州ベルコア社(2年間)
1994年 米国ニューヨーク市コロンビア大学CTR(Center for Telecommunications Research)にて客員研究員。
高速ネットワークアーキテクチャの研究に従事(2年間)
同 年 ラベルスイッチ技術のもととなるセルスイッチルータ技術をIETFに提案し、その後、セルスイッチルータの研究・開発・マーケティングに従事。IETFのMPLS分科会、IPv6分科会では、積極的に標準化活動に貢献している。
1998年 東京大学大型計算機センター助教授
2001年 東京大学情報理工学系研究科助教授
2005年 現職(東京大学情報理工学系研究科教授)
ICT教育推進協議会会長。WIDEプロジェクト代表。MPLS-Japan代表、IPv6普及・高度化推進協議会専務理事、JPNIC副理事長、ISOC(Internet Society)名誉理事(Emeritus Board of Trustee)。日本データセンター協会理事/運営委員会委員長。工学博士(東京大学)。

IT教育における課題を大学、および専門学校の観点から提示し、共通の課題とそうでないものを整理し、大学と専門学校間を含めた学校間での課題の共有を行う。さらに、1校だけで解決できない課題について、産業界、資格関連団体への協力依頼、初等・中等教育への希望する内容を提示し、課題解決のために学外の団体との連携強化を考える場とする。

基調講演2「産業界から見た、これからのICT技術者への期待」

15:15
～
15:45



講演者： 矢野 薫氏 (日本電気株式会社 代表取締役会長)

矢野薫は2010年4月、代表取締役 会長に就任し、当社の事業運営の基本的な重要事項を総括しています。会長就任以前には、社長としてIT・ネットワーク融合領域の事業強化を進めるとともに、NECグループの方向づけに取り組んできました。さらに、今後のNECグループが目指す姿(ビジョン)と、その実現のために大切にすべき価値観(バリュー)を策定し「NEC Way」を体系化しました。このビジョン・バリューとNEC Wayに基づき、NECグループが「One NEC」としてお客さまに貢献し、成長・発展していくための様々な改革を実行してきました。矢野は1966年の入社以来、約20年にわたって通信機器の開発に従事した後、NECアメリカ社に外向し、北米における通信機器の開発・販売を担当しました。その後、国内・海外において主にネットワーク事業部門の要職を歴任し、インターネット化/IP化による急激な環境変化に直面した同事業の再構築を指揮しました。また、研究開発部門担当としてNECグループの技術開発を牽引してきました。キャリアを通じて、先進的な技術によるイノベーション(革新)に力を注ぐと同時に、内外の通信事業者、官公庁、民間企業等、幅広いお客さまとの信頼関係を築いてきました。また、大学院留学を含め3度にわたる海外駐在を経験し、国際的な視野を持つことでも知られています。

インターネットの普及拡大に伴い、ICT産業はクラウドコンピューティングやユビキタスネットワークを中心とする新たな時代に入った。情報通信技術は今後も、様々な経済活動を支えるうえで必要不可欠なインフラとして、重要な役割を期待されているが、その一方で、わが国のICT産業は厳しいグローバルな競争環境にさらされており、大きな転換点を迎えている。日本が国際競争に勝ち抜いてゆくうえで、企業としてこれからのICT技術者に期待する資質について、幅広い視点から提言する。

パネルディスカッション「ICT教育Square」

16:00
～
17:30



モデレータ： 吉田 眞氏 (ICT教育推進協議会運営委員/TCJ東日本代表世話人/東京大学名誉教授)
元NTT、NTT-AT役員、東京大学大学院 工学系研究科教授
TMForum Distinguished Fellow



パネリスト： 山下 義人氏 (ゾーホージャパン株式会社代表取締役社長)
1980年3月 早稲田大学理工学部電気工学科卒業
1980年4月 日本ユニバック(現日本ユニシス)に入社、通信ソフトウェアの開発に従事 情報処理学会(ISO SC6)の標準会員を務める
1989年4月 日本鋼管株式会社(現JFE)に入社 CMIP、SNMPなどのシステム開発に従事 OSI NM/Forum(元TMF)にNKK代表で参画 2001年3月末に退社
2001年4月 米国AdventNet社に勤務 米国AdvantNet社VP
2001年9月 米国AdventNet社の日本法人を設立 同代表取締役に就任
2009年7月 社名をゾーホージャパン株式会社に変更
現在に至る



パネリスト： 三田 淳司氏 (長崎総合科学大学 情報学部 経営情報学科 専任講師)
東京生まれ。学部、大学院では「船舶工学」を学ぶ。工学修士。船や海洋浮体構造物の水槽実験が専門。実験のための計測技術からコンピュータプログラム、電気回路などを学んでいる内にコンピュータネットワークが登場し、そちらが面白くなってしまった。お酒と車が好きだったが、肝臓を壊して禁酒中。今はヤフーオークションで落札した、「14年落ち、7万円のクラウン」を整備して遊んでいる。



パネリスト： 長部 謙司氏 (シスコシステムズ合同会社シスコネットワークング アカデミープログラム マネージャー)
2008年2月Cisco Systems合同会社に入社、Cisco Networking Academyを担当する他、Stanford大学との日本の起業、起業家を研究するプロジェクトも担当する。また、いくつかのグローバル人材育成プログラムにも従事する。

産業構造、社会問題、国際化対応など、ICT教育が取り巻くあらゆる問題について、会場の参加者と対話しながら、今後への課題とICTEPCの役割、提言などについて議論する。

開催内容詳細 会場内風景

ICT教育推進協議会説明会



ボーダレスネットワーク時代が求める人材とキャリアパス



基調講演①「人づくりの現場から」



開催内容詳細 会場内風景

基調講演②「産業界から見た、これからのICT技術者への期待」



パネルディスカッション「ICT教育Square」



クロージング(ICT教育推進協議会功労賞授与)



展示・協力企業/団体

特定非営利活動法人エルピーアイジャパン



(ISC)²



株式会社ラック



ユニアデックス株式会社



ネットワンシステムズ株式会社



シスコシステムズ合同会社



IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース

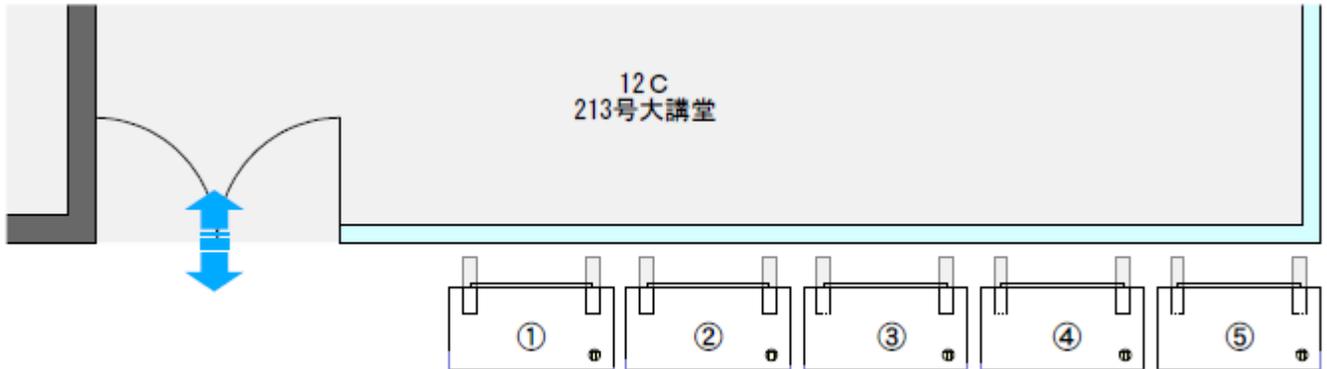


後援

経済産業省

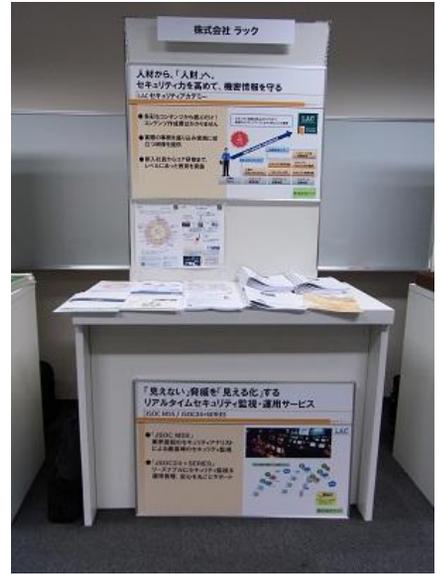
総務省

会場使用：メイン会場前ホワイエに展示



- ① 特定非営利活動法人エルピーアイジャパン
- ② (ISC)²
- ③ 株式会社ラック
- ④ ユニアデックス株式会社
- ⑤ ネットワンシステムズ株式会社





参加者アンケート結果 (参加セッション満足度)

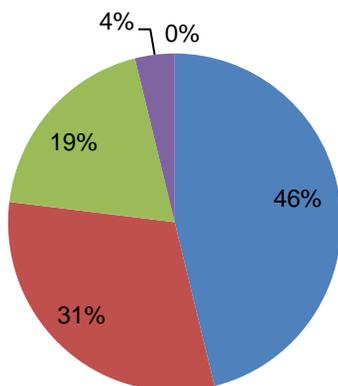
☆解説

5段階評価で、参加者の皆さんに各プログラムの満足度をご回答いただきました。平均POINTは、4.23であり、参加者の満足度を概ね得られているものと考えられます。

学生向けプレセッション

「ボーダレスネットワーク時代が求める人材とキャリアパス」(平均値4.2)

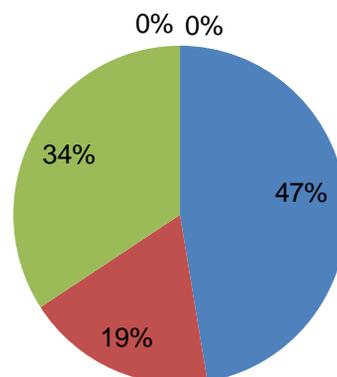
■ 5 満足 ■ 4 やや満足 ■ 3 普通 ■ 2 やや不満 ■ 1 不満



基調講演1「人づくりの現場から」

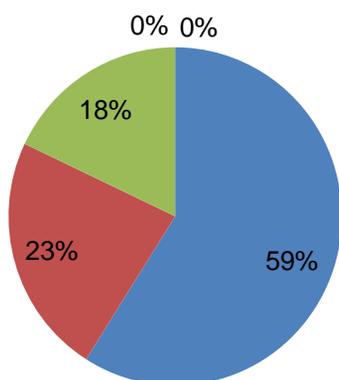
(平均値4.1)

■ 5 満足 ■ 4 やや満足 ■ 3 普通 ■ 2 やや不満 ■ 1 不満



基調講演2「産業界から見た、これからのICT技術者への期待」(平均値4.4)

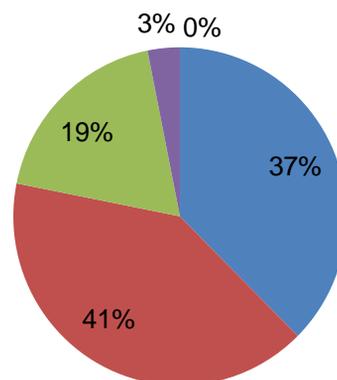
■ 5 満足 ■ 4 やや満足 ■ 3 普通 ■ 2 やや不満 ■ 1 不満



パネルディスカッション「ICT教育square」

(平均値4.1)

■ 5 満足 ■ 4 やや満足 ■ 3 普通 ■ 2 やや不満 ■ 1 不満



参加者アンケート結果 (プログラム内容についての評価)



【設問】

プログラム内容について、ご意見、ご感想などがありましたらお聞かせください。

- ・基調講演の時間が短いと思った。応援メッセージが多く、勇気づけられた。
- ・本音レベルの議論があり、大変参考になりました。
- ・グローバル競争にこれから本格的にさらされる日本人技術者が向かう方向性がみえてきた。
- ・多様な人材が集っての議論となり、たいへん興味深かったです。
- ・大変興味深い内容でした。
- ・大変興味深いものでした。特に、グローバル化に向けたICT教育の課題(パネルでの話)はよかった。
- ・矢野氏の講演は分りやすかった。熱意が感じられた。クラウドのアプリケーションのデモ風プレゼンはおもしろかった。
- ・興味深い内容でした。特に基調講演2。パネルディスカッションは「英語化」と「留学生」の話題にかたよりすぎ。
- ・本活動の趣旨や、取組等の紹介がほしい。
- ・学生です。普段「キャリアパス」という言葉を良く聞きますが、具体的に自分のキャリアパスを考えると、うまく想像できませんでした。今回は具体的なキャリアパスの例と、分りやすい解説をしていただいたので、自分の中でしっくりきた気がします。長部さんのセッションがすごく分りやすくて、堂々としていて、自分も長部さんのようなプレゼンができるようになりたいと思いました。
- ・ICT企業が求める人材とキャリアパスについて意味深いお話を聞けて本当によかったと思います。就職活動に向けて、自分の足りない能力を強化し、今後につなげていきたいと思います。
- ・セッションの数が少ないように思いました。
- ・教育の専門家のおもいが伝わるものだった。

参加者アンケート結果 (次回開催時に取り上げてほしい テーマについて)



【設問】

今後も開催を続けていく予定ですが、次回に向けて取り上げてほしいテーマがあればお聞かせください。

- ・外国人技術者との競争に勝つ為に、身に付けておかなければならない事。
- ・研究者/技術者養成、人材の流動化(施策)など
- ・よりディスカッションを増やしてほしい
- ・global人材教育最前線
- ・地方のIT推進とICT教育について→ICTの「地産地消」について
- ・グローバル化に対応したICTの教育カリキュラムは気になる
- ・「ICT」より「IT」のテーマが多かった気がするので次回は「ICT」の「C」のテーマを多く入れてほしい。
- ・本活動の趣旨や、取組等の紹介がほしい。
- ・キャリアパス
- ・国際的なICT教育現場との比較における日本のICTの教育現場の早急な改善課題と先進的な教育現場の事例紹介と普及促進計画及び、文部科学省や経済産業省、厚生労働省、総務省への提言政策提言で実行
- ・企業内でのICT教育←情報系でない人に対しても含めて
- ・具体的にどういう教育をしているかの実践例など。
- ・教育リソース、コンテンツのオープン化、アーカイブの動向を取り上げてほしい。

参加者アンケート結果 (会議全般について)



【設問】

その他、合同会議全般について、ご意見、ご感想などがありましたらお聞かせください。

- ・放談会的な感じがあり、学術的な蓄積があるような会議であればリピーターが増えると思いました。
- ・シスコネットワークアカデミー以外の教育機関の参加を望む。
- ・高度情報通信人材育成センター(CeFIL)とのレンケイ含めた活動との合同もあるかと思えます。
- ・楽しかったです。
- ・講演資料(プレゼンテーション資料)のHPへの事前掲載をお願い致したく存じ上げます。
- ・多様な観点が出てきて(結論はないものの)良かったと思う。

参加者アンケート結果 (参加のきっかけ)

【設問】

当イベントを知ったきっかけは何でしょうか？あてはまるものに○印をお願いします。

所属	%
所属団体・協会からのメール・紹介	38%
知人・同僚からの紹介	23%
メールマガジンやメーリングリスト	8%
WEBをみて	8%
その他	8%
無回答	8%
新聞広告	0%
出展企業・協力企業からのメール・紹介	0%
勤務先からの指示	0%

記述回答

- ・Linux-Text MLにて
- ・学校の先生に紹介してもらいました

参加者アンケート結果 (参加者属性)

【設問】

参加者ご本人につきましてお聞かせください。あてはまるものに○印をお願いします。

所属	%
会社員(IT関連)	46%
大学生・大学院生・専門学校生	19%
大学ならびに短期大学教員・職員	12%
会社員(教育関連)	8%
会社員(上記以外)	8%
大学・大学院・短期大学・専門学校・高等専門学校以外の学校・教育機関・研究機関	4%
団体職員	4%
無回答	4%
専門学校教員・職員	0%
高等専門学校教員・職員	0%
大学・大学院・専門学校以外の学生	0%
主婦	0%
無職	0%
その他	0%

☆**日本経済新聞（8月18日朝刊掲載）**

今年度中の参加100団体めざす ICT教育推進協議会

☆**日経産業新聞(8月18日朝刊掲載)**

IT人材育成 シスコ・東大など連携 大学生対象に実践指導

☆**INTERNET WATCH（8月17日掲載）**

ICT人材教育で産学協力、シスコやNTT Comのトレーニング課程を大学でも

http://internet.watch.impress.co.jp/docs/news/20100817_387563.html

☆**IT Leaders(8月18日掲載)**

東大やシスコなどが教育環境を協同で整備、ICT教育推進協議会が活動方針を報告

<http://it.impressbm.co.jp/e/2010/08/18/2664>

☆**マイコミジャーナル（8月18日掲載）**

【レポート】現場を反映し、グローバル化を見据えた人材育成を-ICT教育推進協議会

<http://journal.mycom.co.jp/articles/2010/08/18/ictepc/>

☆**情報産業新聞(9月6日掲載)**

ICT教育で活動 グローバル人材育成 ICTEPC

☆**電経新聞（8月23日掲載）**

産学連携で教育者を育成 ICT教育推進協議会が活動報告

☆**東京IT新聞(9月14日掲載)**

IT業界のニーズに合わせた実践的な人材の輩出を目標に ICT教育推進協議会

